

2026年度第1四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、
KOBELCOと。

2026年8月5日
株式会社 神戸製鋼所
証券コード 5406



- 総括
- 2026年度 第1四半期業績
- 2026年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

2026年度 第1四半期業績

- 主要な需要分野の活動水準は前年同期並みで低調に推移。また、中東情勢の悪化を受けた原油市況の高騰によるコストアップが顕在化。
- 経常損益は、前年同期比減益の226億円。アルミ・銅地金価格の上昇などにより在庫評価影響が改善する一方、鉄鋼メタルスプレッドが悪化した。
- 四半期純損益は、前年同期に計上した政策保有株式の売却益の剥落などにより、前年同期比減益の121億円となった。

2026年度 業績見通し

- 第2四半期以降の需要環境は、自動車、建築・土木関連を中心に引き続き低調に推移すると想定。
- 中東情勢については、第2四半期以降、段階的に正常化に向かうものと想定するものの、原油市況の高騰に伴うコストアップを中心に年間△120億円の業績影響(前回比△20億円)を見込む。
- 業績見通しは、中東情勢の影響や鉄鋼メタルスプレッドの悪化を見込む一方、在庫評価益の増加などにより、経常損益1,200億円、当期純損益1,000億円、ROIC5.5%程度といずれも前回並みを見通す。
- フリーキャッシュフローは、在庫評価影響を除く経常損益の悪化などにより0億円に下方修正。
- 純資産比率49%程度、D/Eレシオ0.55倍程度といずれも前回並みを見込む。

株主還元

- 中間配当:40円、年間配当:80円の前回方針から変更なし(配当性向31.7%)。

2026年度 第1四半期業績

		前年同期比
売上高	5,783億円	+92億円
経常損益	226億円	△60億円
在庫評価影響を除く	116億円	△210億円
親会社株主に 帰属する四半期純損益	121億円	△264億円

2026年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆6,900億円	+1,300億円
経常損益	1,200億円	±0億円
在庫評価影響を除く	995億円	△160億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,000億円	±0億円

財務指標
2026年度見通し

ROIC	: 5.5%程度	(前回:5.5%程度)
ROE	: 7.5%程度	(前回:7.5%程度)
純資産比率	: 49%程度	(前回:49%程度)
D/Eレシオ	: 0.55倍程度	(前回:0.55倍程度)

株主還元

1株あたり中間配当40円、年間配当80円の方針(前回から変更なし)

- ・ 第1四半期において、原油市況の高騰に伴うコストアップなど△55億円が顕在化。
- ・ 第2四半期以降、コストアップに対する販売価格への転嫁を進めていく計画としているものの、価格転嫁時期にずれが生じることから、年間△120億円の業績影響を想定。

想定されるリスクと業績影響

	今回		(参考)
	1Q	年度	前回
原油市況高騰に伴う物流コスト、エネルギー・諸資材価格の高騰、販売価格転嫁	△45	△100	(△100)
アルミ関連事業における原材料の代替調達コストアップ	—	△10	(△10)
機械系事業における中東向け売上の減少・時期ずれ	△5	△5	(△60)
原油関連製品の供給減や物流停滞に伴う当社生産・出荷制約	—	—	(△α)
お客様・取引先様における生産・販売面への影響の顕在化	△5	△5	(△α)
	△55	△120	△200※

※ 前回見通しでは、年間△200億円の概算影響のうち、上期収束前提で△100億円をリスクとして反映

(セグメント別内訳)

鉄鋼：△60億円、アルミ板：△30億円、素形材：△20億円、機械：△5億円、建設機械：△5億円

2026年度 第1四半期業績

(単位:億円)	2025年度			2026年度見通し(今回)			増減 ②－①
	1Q ①	上期	通期	1Q ②	上期	通期	
売上高	5,690	11,814	24,365	5,783	13,000	26,900	+92
営業損益	313	625	1,298	204	650	1,500	△108
経常損益	287	576	1,213	226	500	1,200	△60
在庫評価影響を除く	327	641	1,258	116	330	995	△210
特別損益	167	179	△4	27	27	100	△140
親会社株主に帰属する 当期純損益	386	628	937	121	350	1,000	△264

売上高

アルミ・銅地金の市況上昇に伴う素材系事業での販売価格の上昇があったものの、電力での神戸発電所3号機の定期点検延長の影響等により、前年同期並み

経常損益

アルミ・銅地金の市況上昇に伴う素材系事業での在庫評価影響が改善一方で、鉄鋼メタルスプレッドが悪化したことなどにより、前年同期比減益

当期純損益

政策保有株式の売却益等の剥落による特別利益の減少により、前年同期比減益

2026年度 第1四半期業績:経常損益 前年同期比

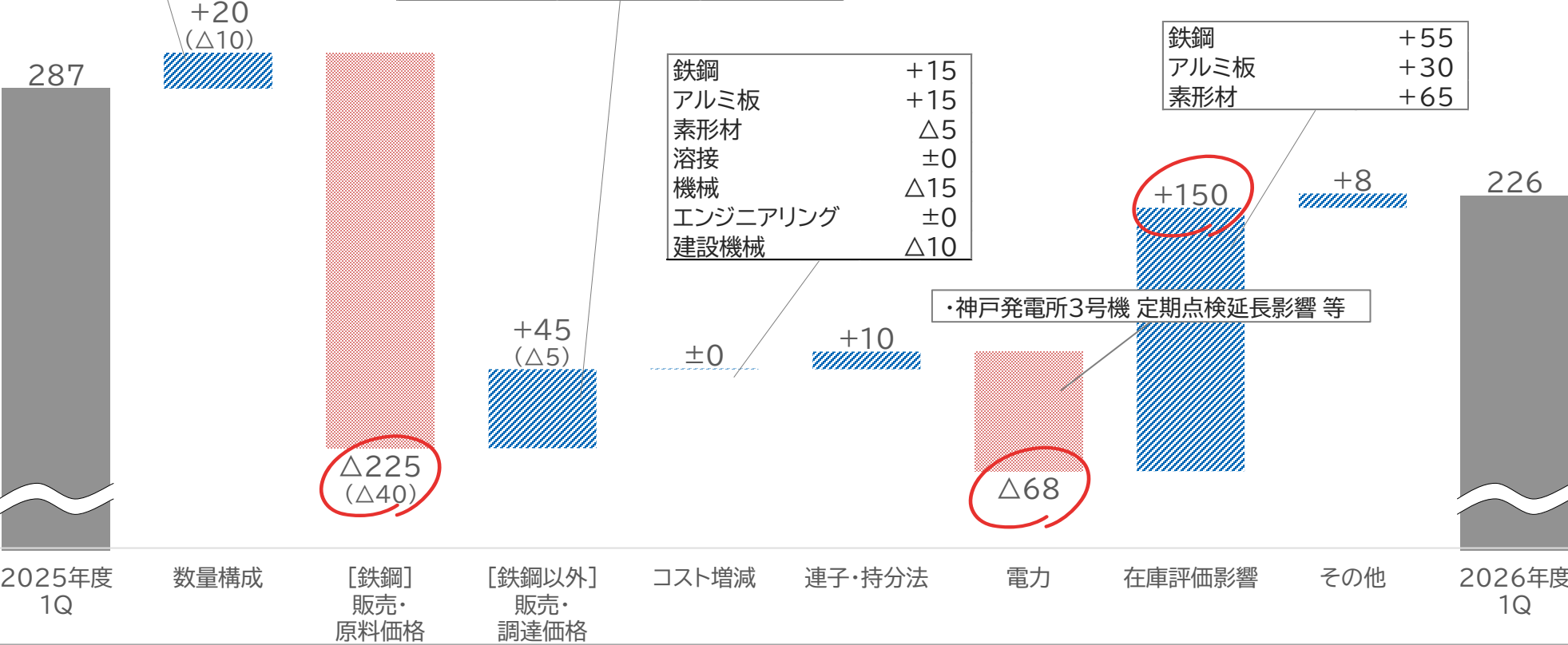


△60億円

鉄鋼	△15
アルミ板	+5
素形材	+10
溶接	+10
機械	△25
エンジニアリング	+45
建設機械	△10

	販売・ 調達価格	為替 影響
アルミ板	△5	+5
素形材	+10	±0
溶接	+5	±0
建設機械	±0	+30
計	+10	+35

<中東影響(内数かっこ書き)>	
数量構成	△10
販売・調達価格	△45
計	△55



2026年度 第1四半期業績:経常損益 各セグメントの状況

	2025 1Q実績	2026 1Q実績	差異	
鉄鋼 在庫評価影響を除く	60 105	△77 △87	△138 △193	原料市況上昇によるメタルスプレッドの悪化等により、在庫評価影響の改善があったものの、減益
アルミ板 在庫評価影響を除く	△5 △10	54 19	+59 +29	固定資産減損による減価償却費の減少や、在庫評価益の増加により、増益
素形材 在庫評価影響を除く	0 0	81 16	+80 +15	半導体製造装置向けの販売数量の増加や、在庫評価影響の改善により、増益
溶接	9	23	+14	販売数量の増加や円安等により、増益
素材系事業 計	64	81	+16	
機械	105	62	△42	エネルギー・化学分野向け売上の減少等により、減益
エンジニアリング	11	60	+48	還元鉄関連事業における売上の増加により、増益
建設機械	12	9	△2	円安影響や価格転嫁の進展による増益があったものの、調達コストアップや台数構成の悪化等により、減益
機械系事業 計	128	132	+3	
電力	85	16	△68	神戸発電所3号機の定期点検の延長や、石炭価格に関する増益影響の剥落等により、減益

青字は需要変動の影響を受けるユニット

自動車	(鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接) 国内は、 前回並み 海外は、中東影響や中国における日系自動車メーカーの販売減少により、 前回比減少
IT・半導体	(アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板) HDD及び半導体製造装置は、データセンター向け投資が引き続き堅調であり、 前回並み
造船	(鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接) 需要は旺盛であるものの、人手不足の継続等により、 前回並み
航空機	(チタン、アルミ鋳鍛) 老朽機リプレイスや新規建造の拡大等で引き続き需要が堅調に推移しており、 前回並み
飲料用缶	(アルミ板) 物価高騰等による需要低迷の継続により、 前回並み
建築・土木	(鉄鋼、溶接) 人手不足・建築費上昇に伴う工事着工遅れの継続等から、 前回並み

(機械)

エネルギー・化学	中東情勢を含む世界経済の不透明感から、投資案件の遅れ等がみられる状況に変化なく、 前回並み
----------	--

一般産業	国内は、需要が堅調に推移 海外は、中国市況が回復せず引き続き低調
------	-------------------------------------

(建設機械・油圧ショベル)

日本	人手不足や物価上昇により需要低迷が継続しており、 前回並み
----	--------------------------------------

中国	政府主導の農地改革政策の牽引により、 前回比増加
----	---------------------------------

北米	引き続き建設需要が堅調であり、 前回並み
----	-----------------------------

欧州	中東影響に伴う景況感の悪化と投資意欲の低下等により、 前回比減少
----	---

東南アジア	中東影響に伴う工事の遅れ等により、 前回比減少
-------	--------------------------------

2026年度 業績見通し

(単位:億円)	2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)			増減 ②－①
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	
売上高	12,400	13,200	25,600	13,000	13,900	26,900	+1,300
営業損益	600	900	1,500	650	850	1,500	±0
経常損益	450	750	1,200	500	700	1,200	±0
在庫評価影響を除く	415	740	1,155	330	665	995	△160
特別損益	30	70	100	27	73	100	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	350	650	1,000	350	650	1,000	±0

売上高

素材系事業や電力での原料価格の上昇に伴う販売価格の上昇等により、前回比増収の見通し

経常損益

鉄鋼メタルスプレッドの悪化に加え、中東情勢の影響により原料・調達コスト等が増加一方で、在庫評価益の増加もあり、前回並みの見通し

当期純損益

前回並みの見通し

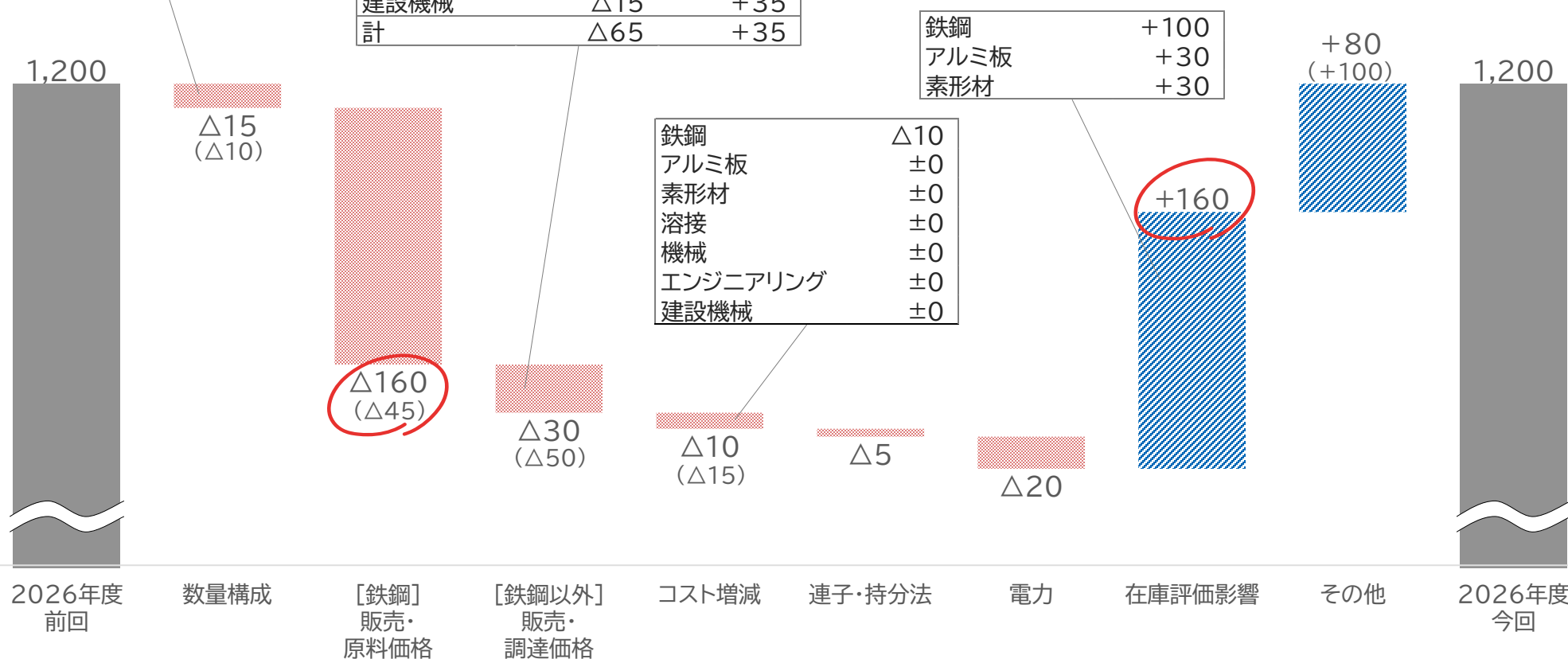
2026年度 業績見通し: 経常損益 前回比

±0億円

鉄鋼	±0
アルミ板	△5
素形材	±0
溶接	±0
機械	±0
エンジニアリング	±0
建設機械	△10

	販売・ 調達価格	為替 影響
アルミ板	△25	±0
素形材	△20	±0
溶接	△5	±0
建設機械	△15	+35
計	△65	+35

<中東影響(内数かっこ書き)>	
数量構成	△10
販売・調達価格	△95
コスト増減	△15
その他	+100
計	△20



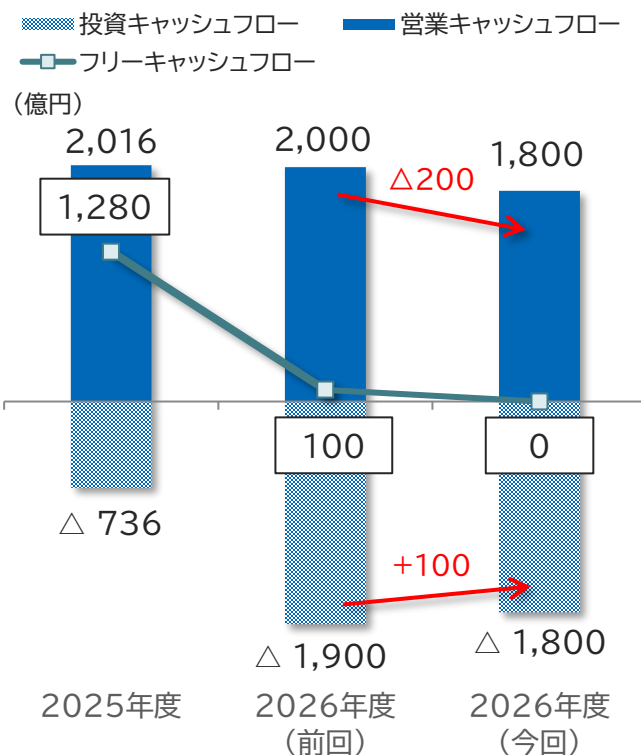
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2026年度 業績見通し:経常損益 各セグメントの状況

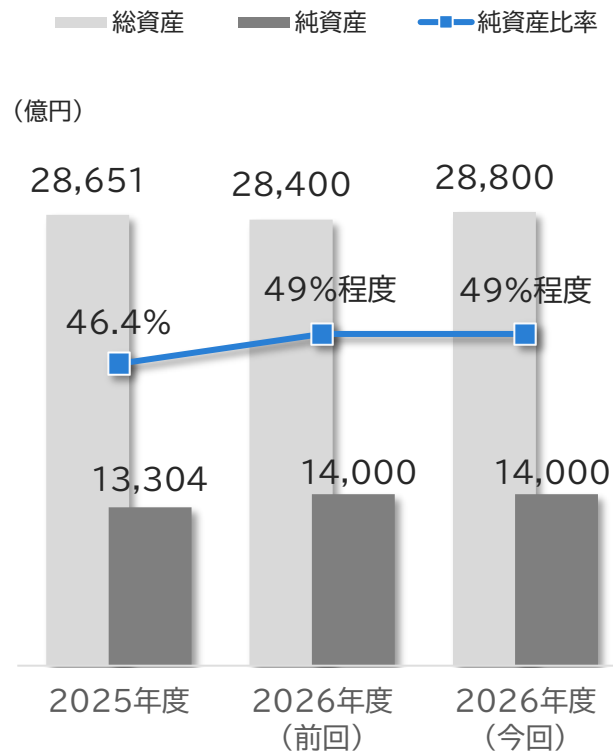
	2026 前回	2026 今回	差異	
鉄鋼	195	140	△55	中東影響と販売価格転嫁の遅れによるメタルスプレッドの悪化により、在庫評価益の増加があるものの、減益の見通し
在庫評価影響を除く	175	20	△155	
アルミ板	55	55	± 0	中東影響による調達コストアップ等により、在庫評価益の増加があるものの、前回並みの見通し
在庫評価影響を除く	40	10	△30	
素形材	100	110	+10	中東影響による調達コストアップ等があるものの、在庫評価益の増加により、増益の見通し
在庫評価影響を除く	90	70	△20	
溶接	65	65	± 0	前回並みの見通し
素材系事業 計	415	370	△45	
機械	400	400	± 0	前回並みの見通し
エンジニアリング	115	115	± 0	前回並みの見通し
建設機械	160	160	± 0	台数構成の悪化やコストアップがあるものの、円安による増益により、前回並みの見通し
機械系事業 計	675	675	± 0	
電力	320	300	△20	神戸発電所3号機の定期点検の延長により、減益の見通し
その他・調整額	△210	△145	+65	中東リスク(前回△100億円)を各セグメント損益に織り込み

- 営業キャッシュフローは、在庫評価影響を除く経常損益の悪化などにより、前回比△200億円減少の1,800億円、フリーキャッシュフローは0億円となる見通し。
- 有利子負債残高は前回並みを見込む。純資産比率は49%程度、D/Eレシオは0.55倍程度を見込む。

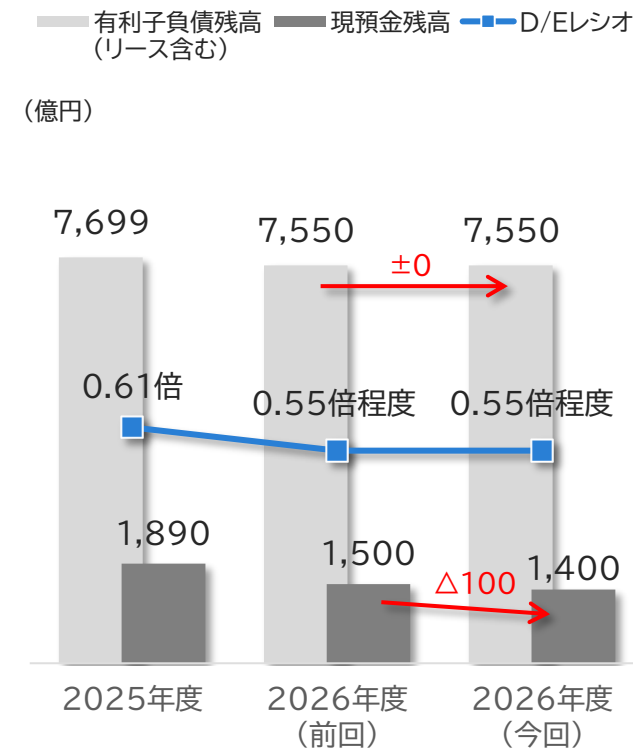
キャッシュフロー



純資産比率



D/Eレシオ



前回公表の方針のとおり、「1株につき中間配当40円、年間配当80円とする方針」は変更なし

還元方針 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定

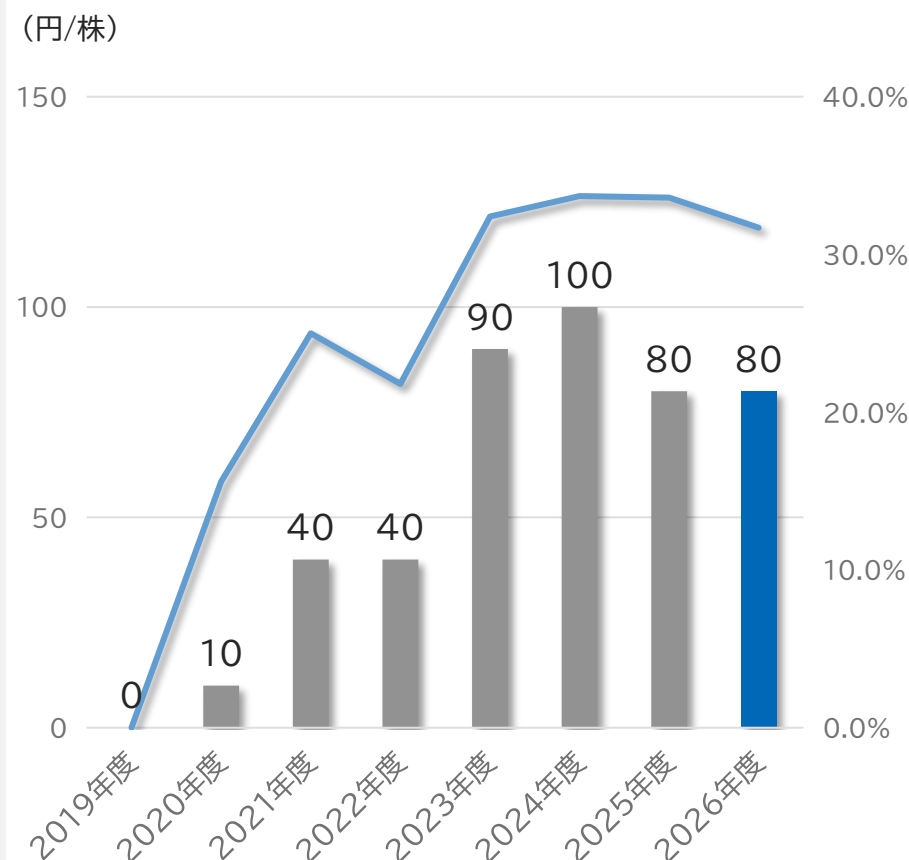
中期経営計画(2024～2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)
配当性向(%)

2025年度		2026年度(方針)	
中間	期末	中間	期末
40円	40円	40円	40円
80円		80円	
33.6%		31.7%	

配当金額・配当性向



セグメント情報

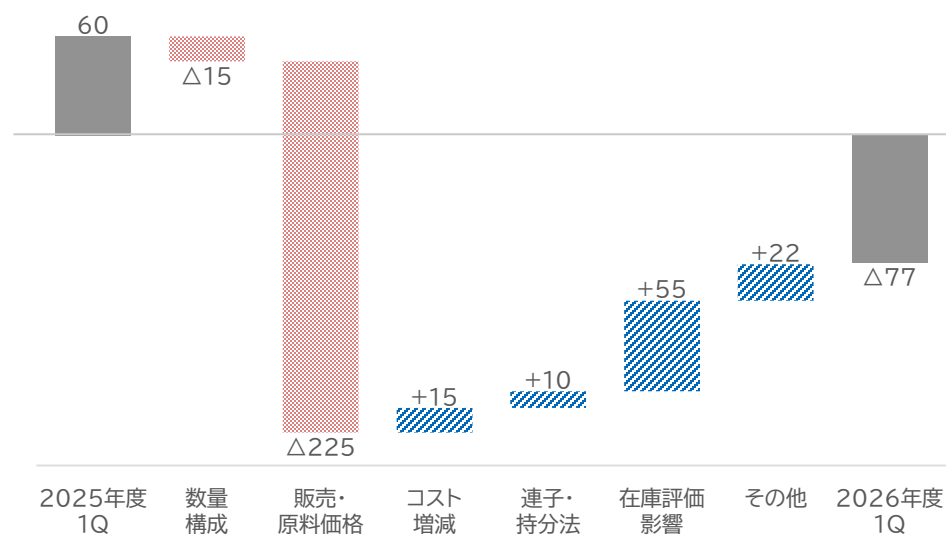
2026年度第1四半期業績・2026年度業績見通し



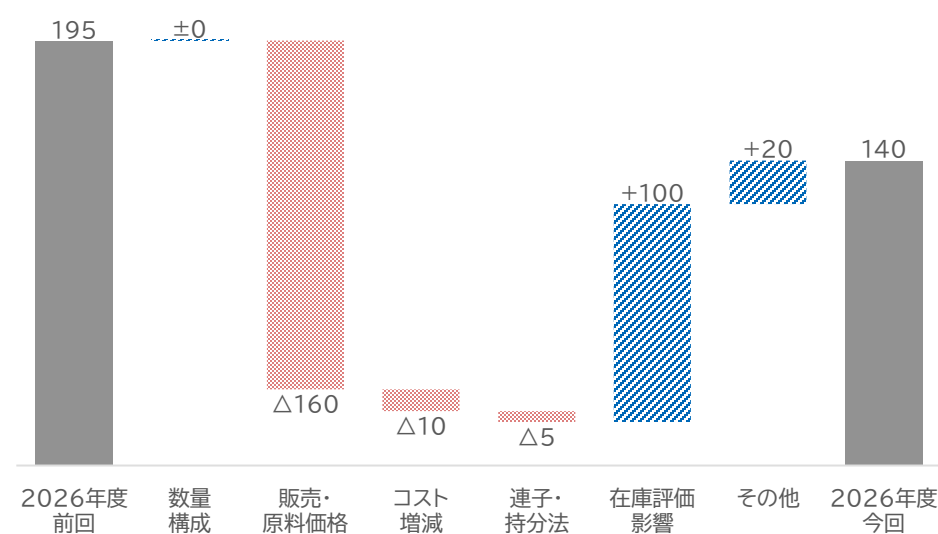
(単位:億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
鉄鋼アルミ	2,578	9,969	4,990	5,230	10,220	2,501	5,130	5,400	10,530	△76	+560	+310
素形材	759	3,328	1,740	1,850	3,590	925	1,900	1,950	3,850	+165	+521	+260
溶接	226	964	490	510	1,000	262	510	520	1,030	+36	+65	+30
機械	661	2,827	1,440	1,350	2,790	597	1,380	1,420	2,800	△64	△27	+10
エンジニアリング	323	1,938	880	1,080	1,960	397	860	1,150	2,010	+73	+71	+50
建設機械	835	3,895	2,060	2,230	4,290	875	2,145	2,375	4,520	+39	+624	+230
電力	458	2,032	1,070	1,120	2,190	348	1,120	1,210	2,330	△109	+297	+140
その他	14	58	30	30	60	13	30	30	60	△0	+1	±0
調整額	△168	△649	△300	△200	△500	△139	△75	△155	△230	+28	+419	+270
売上高	5,690	24,365	12,400	13,200	25,600	5,783	13,000	13,900	26,900	+92	+2,534	+1,300
営業損益	313	1,298	600	900	1,500	204	650	850	1,500	△108	+201	±0
鉄鋼アルミ	54	28	85	165	250	△23	25	170	195	△78	+166	△55
素形材	0	87	50	50	100	81	60	50	110	+80	+22	+10
溶接	9	58	30	35	65	23	35	30	65	+14	+6	±0
機械	105	467	185	215	400	62	180	220	400	△42	△67	±0
エンジニアリング	11	126	50	65	115	60	70	45	115	+48	△11	±0
建設機械	12	123	55	105	160	9	60	100	160	△2	+36	±0
電力	85	347	120	200	320	16	95	205	300	△68	△47	△20
その他	2	50	25	25	50	15	25	25	50	+12	△0	±0
調整額	5	△76	△150	△110	△260	△18	△50	△145	△195	△24	△118	+65
経常損益	287	1,213	450	750	1,200	226	500	700	1,200	△60	△13	±0
在庫評価影響を除く	327	1,258	415	740	1,155	116	330	665	995	△210	△263	△160
特別損益	167	△4	30	70	100	27	27	73	100	△140	+104	±0
親会社株主に帰属する 当期純損益	386	937	350	650	1,000	121	350	650	1,000	△264	+62	±0

(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	2,120	8,222	4,020	4,210	8,230	1,995	4,120	4,380	8,500	△124	+277	+270
経常損益	60	38	65	130	195	△77	△25	165	140	△138	+101	△55
在庫評価影響を除く	105	133	60	115	175	△87	△120	140	20	△193	△113	△155
粗鋼生産量(高砂含む) [万t]	146	581	300	290	590	147	300	300	600	+1	+19	+10
鋼材 販売数量(単体) [万t]	115	463	235	235	470	114	240	240	480	△1	+17	+10
(国内)	93	369				92				△1		
(輸出)	23	94				22				△1		
(輸出比率)	20%	21%				20%				+0%		
鋼材 販売単価 [千円/t]	138	133				133				△5		

2026年度第1四半期業績(前年同期比)



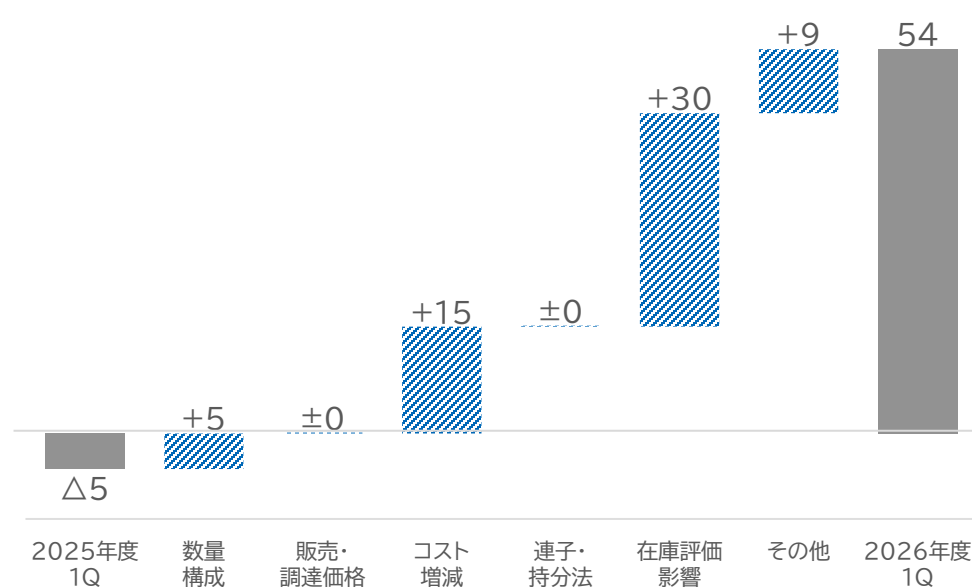
2026年度業績見通し(前回比)



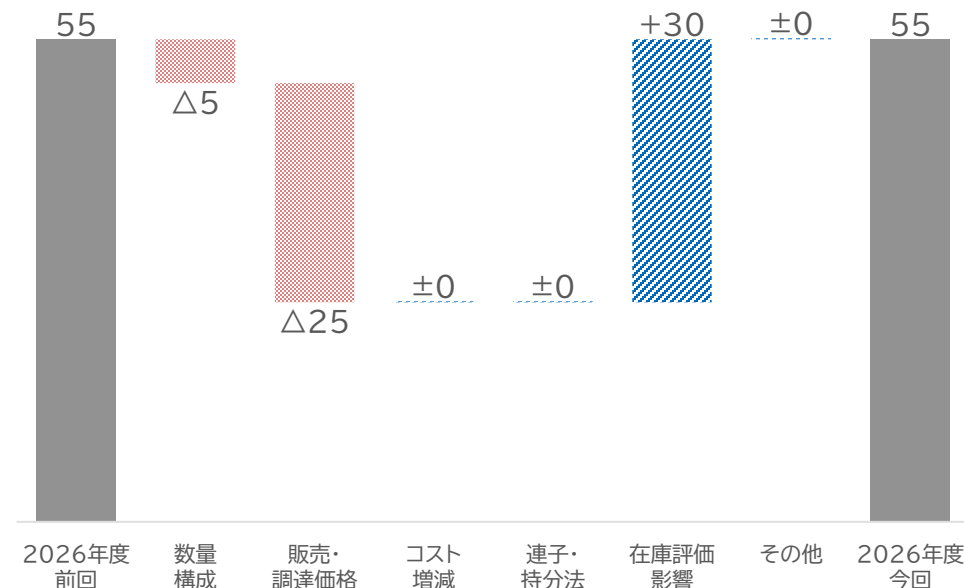
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	457	1,746	970	1,020	1,990	506	1,010	1,020	2,030	+48	+283	+40
経常損益	△5	△9	20	35	55	54	50	5	55	+59	+64	±0
在庫評価影響を除く	△10	△34	10	30	40	19	5	5	10	+29	+44	△30
アルミ板 販売数量(連結) [千t]	70	263	140	145	285	71	140	145	285	+1	+22	±0
(国内)	57	218				59				+2		
(海外)	12	45				12				△0		

2026年度第1四半期業績 (前年同期比)



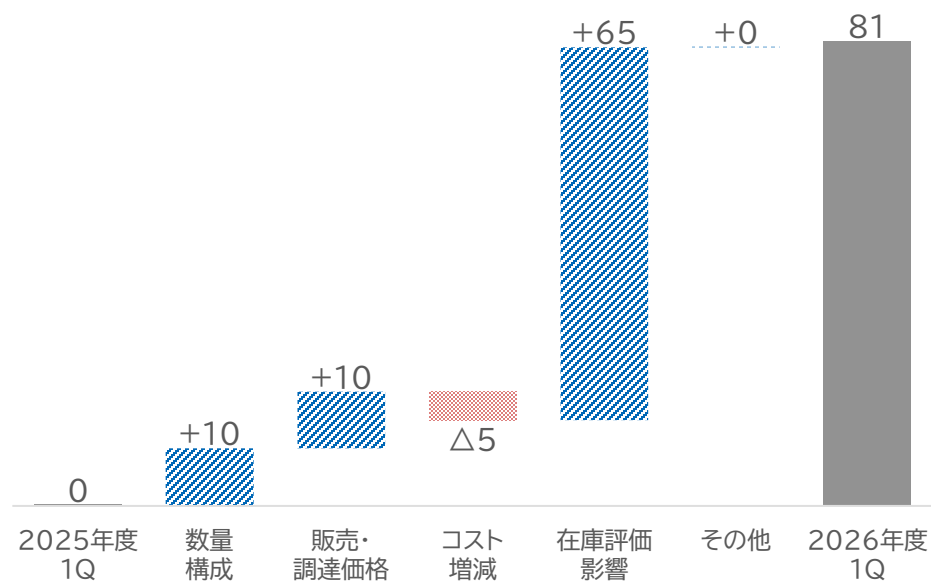
2026年度業績見通し (前回比)



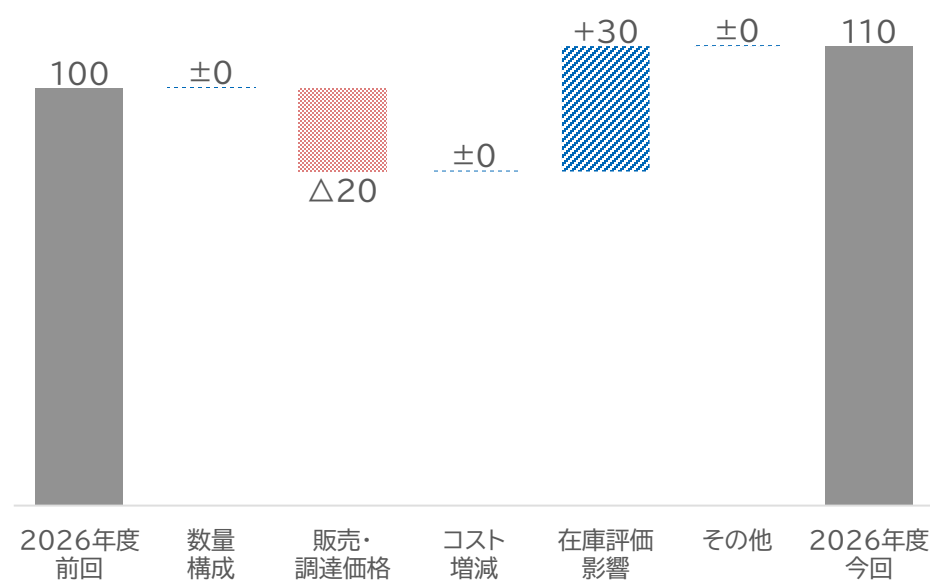
※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	759	3,328	1,740	1,850	3,590	925	1,900	1,950	3,850	+165	+521	+260
経常損益	0	87	50	50	100	81	60	50	110	+80	+22	+10
在庫評価影響を除く	0	62	30	60	90	16	30	40	70	+15	+8	△20
アルミ押出 販売数量 (連結)[千t]	9	36	19	19	38	10	19	20	39	+1	+3	+1
(国内)	7	28				7				+1		
(海外)	2	8				2				+0		
銅板 販売数量 (単体) [千t]	13	54	29	30	59	13	28	32	60	+1	+6	+1

2026年度第1四半期業績 (前年同期比)



2026年度業績見通し (前回比)



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	226	964	490	510	1,000	262	510	520	1,030	+36	+65	+30
経常損益	9	58	30	35	65	23	35	30	65	+14	+6	±0
溶接材料 販売数量 (連結) [千t]	56	227	115	120	235	60	120	115	235	+4	+8	±0
(国内)	21	91				24				+3		
(海外)	35	136				35				+0		

2026年度第1四半期業績（前年同期比）

数量 国内: 緩やかな需要回復により、増加
海外: 前年同期並み

価格 円安等により、上昇

コスト 調達コストを中心に増加

2026年度業績見通し（前回比）

数量 国内、海外ともに前回並みの見通し

価格 円安等により、上昇

コスト 調達コストを中心に増加

(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	661	2,827	1,440	1,350	2,790	597	1,380	1,420	2,800	△64	△27	+10
経常損益	105	467	185	215	400	62	180	220	400	△42	△67	±0
受注高	593	2,701	1,300	1,350	2,650	590	1,300	1,400	2,700	△3	△1	+50
受注残高	2,389	2,412				2,399				+10		

2026年度第1四半期業績（前年同期比）

受注高 前年同期並み

経常損益 エネルギー・化学分野向けの本体売上の減少等により、減益

2026年度業績見通し（前回比）

受注高 前回並みの見通し

経常損益 前回並みの見通し

(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	323	1,938	880	1,080	1,960	397	860	1,150	2,010	+73	+71	+50
経常損益	11	126	50	65	115	60	70	45	115	+48	△11	±0
受注高	649	1,321	1,450	900	2,350	845	1,700	650	2,350	+195	+1,028	±0
受注残高	4,701	3,860				4,367				△334		

2026年度第1四半期業績（前年同期比）

受注高 廃棄物処理関連事業や水処理関連事業で大型案件を受注したこと等により、増加

経常損益 還元鉄関連事業における売上の増加により、増益

2026年度業績見通し（前回比）

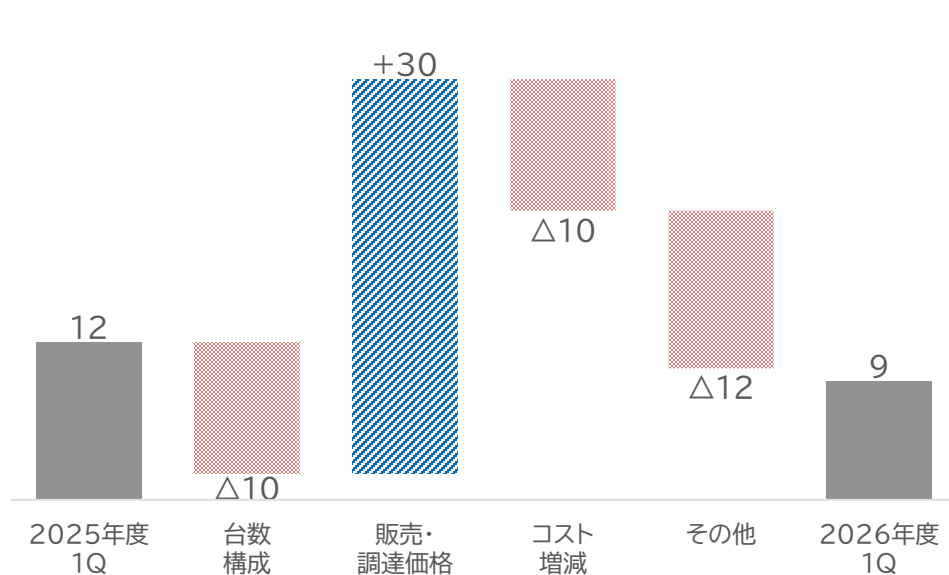
受注高 前回並みの見通し

経常損益 前回並みの見通し

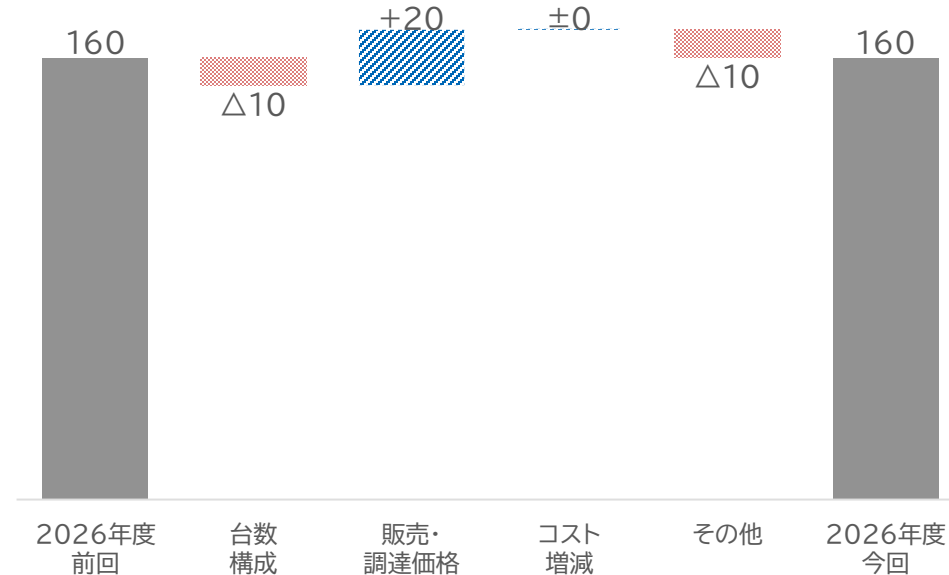
(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	835	3,895	2,060	2,230	4,290	875	2,145	2,375	4,520	+39	+624	+230
経常損益	12	123	55	105	160	9	60	100	160	△2	+36	±0
油圧ショベル販売台数(連結) [千台]	4.5	21.0	10.5	11.5	22.0	4.5	10.5	11.5	22.0	△0.0	+1.0	±0
(国内) ※1	0.9	5.9				0.7				△0.2		
(海外)	3.6	15.1				3.7				+0.2		
クローラークレーン販売台数(連結) [台]	68	329	160	170	330	45	130	215	345	△23	+16	+15

※1: ミニショベルを含む

2026年度第1四半期業績（前年同期比）



2026年度業績見通し（前回比）



(単位: 億円)	2025年度		2026年度見通し(前回)			2026年度見通し(今回)				2025年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	458	2,032	1,070	1,120	2,190	348	1,120	1,210	2,330	△109	+297	+140
経常損益	85	347	120	200	320	16	95	205	300	△68	△47	△20
燃料費調整の時期ずれ	10	10	0	0	0	0	0	0	0	△10	△10	±0
売電価格に関する一過性の損益影響	0	30	0	0	0	0	0	0	0	±0	△30	±0

2026年度第1四半期業績（前年同期比）

販売電力量 神戸発電所3号機の定期点検の延長や神戸発電所4号機の定期検査日数の増加等により、減少

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 神戸発電所3号機の定期点検の延長や石炭価格に関する増益影響の剥落等により、減益

2026年度業績見通し（前回比）

販売電力量 神戸発電所3号機の定期点検の延長等により、減少

販売単価 石炭価格の変動により、上昇

経常損益 神戸発電所3号機の定期点検の延長により、減益

参考資料

	2025年度実績				2026年度 (前回)	2026年度 (今回)		
	1Q	上期	下期	通期	通期	1Q	2-4Q	通期
USドル (円/\$)	143.8	146.1	156.2	151.1	150.0	160.7	155.0	156.4
中国元 (円/元)	19.9	20.3	22.4	21.3	21.0	23.6	22.0	22.4
ユーロ (円/€)	165.1	168.7	182.5	175.6	175.0	186.1	180.0	181.5

【為替の感応度分析】

USドル1円 円安に伴う今後の業績影響

鉄鋼 : △2億円程度(ドルバランスの影響△7億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+5億円)

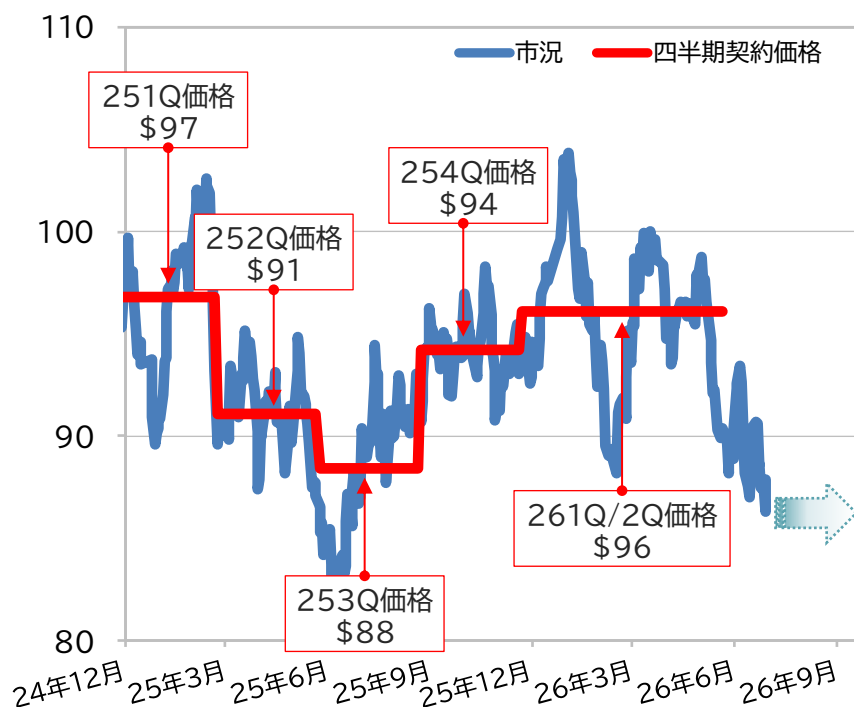
建設機械: +2億円程度(ドルバランスの影響)

ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

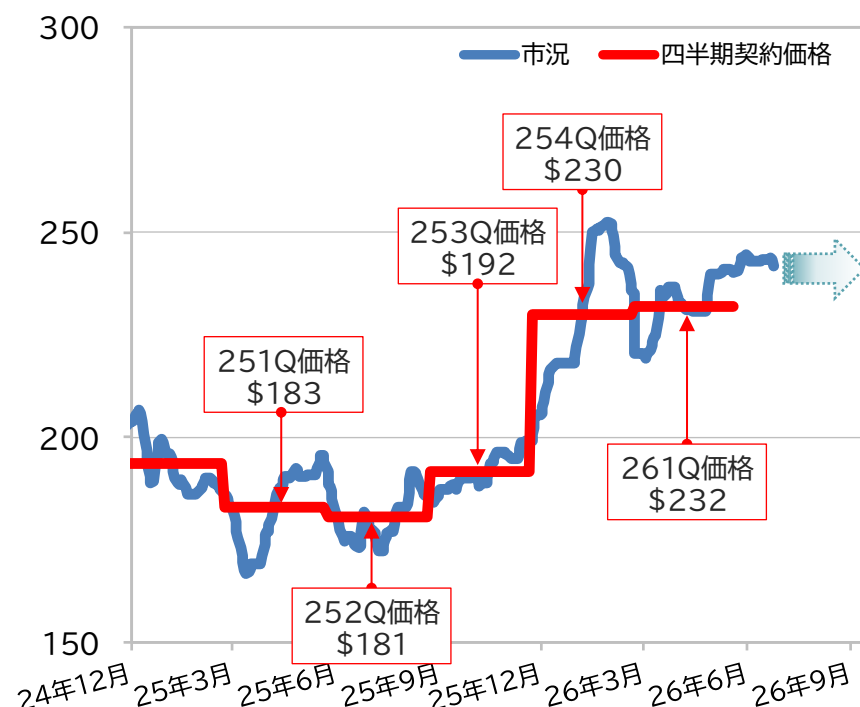
建設機械: +2億円程度(ユーロバランスの影響)

鉄鉱石	2026年度2Q価格は\$96で決着済み。下期以降の価格は足元並みにて想定。
強粘炭	2026年度1Q価格は\$232で決着済み。2Q以降の価格レベルは足元並みにて想定。
一般炭	2026年4月から6月にかけて、\$130～\$150前後で市況は推移。2Q以降は足元並みにて想定。

(\$/トン) <<鉄鉱石(FOB)市況前提>>



(\$/トン) <<強粘炭(FOB)市況前提>>



在庫評価影響



(単位: 億円)

鉄鋼	2025年度				2026年度(前回)			2026年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
鉄鉱石	15	5	5	10	△5	0	△5	5	5	△20	△15
石炭	△5	△5	15	10	△5	0	△5	0	0	0	0
キャリアオーバー	10	0	20	20	△10	0	△10	5	5	△20	△15
総平均	△55	△80	△10	△90	△20	5	△15	70	70	20	90
低価法	10	0	△5	△5	25	10	35	△60	25	5	30
在庫評価影響	△45	△80	△15	△95	5	15	20	10	95	25	120

アルミ板	2025年度				2026年度(前回)			2026年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
総平均	10	15	10	25	10	5	15	35	45	0	45
低価法	△5	△5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
在庫評価影響	5	10	15	25	10	5	15	35	45	0	45

素形材	2025年度				2026年度(前回)			2026年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
総平均	10	20	15	35	30	△20	10	70	30	10	40
低価法	△10	△15	5	△10	△10	10	0	△5	0	0	0
在庫評価影響	0	5	20	25	20	△10	10	65	30	10	40

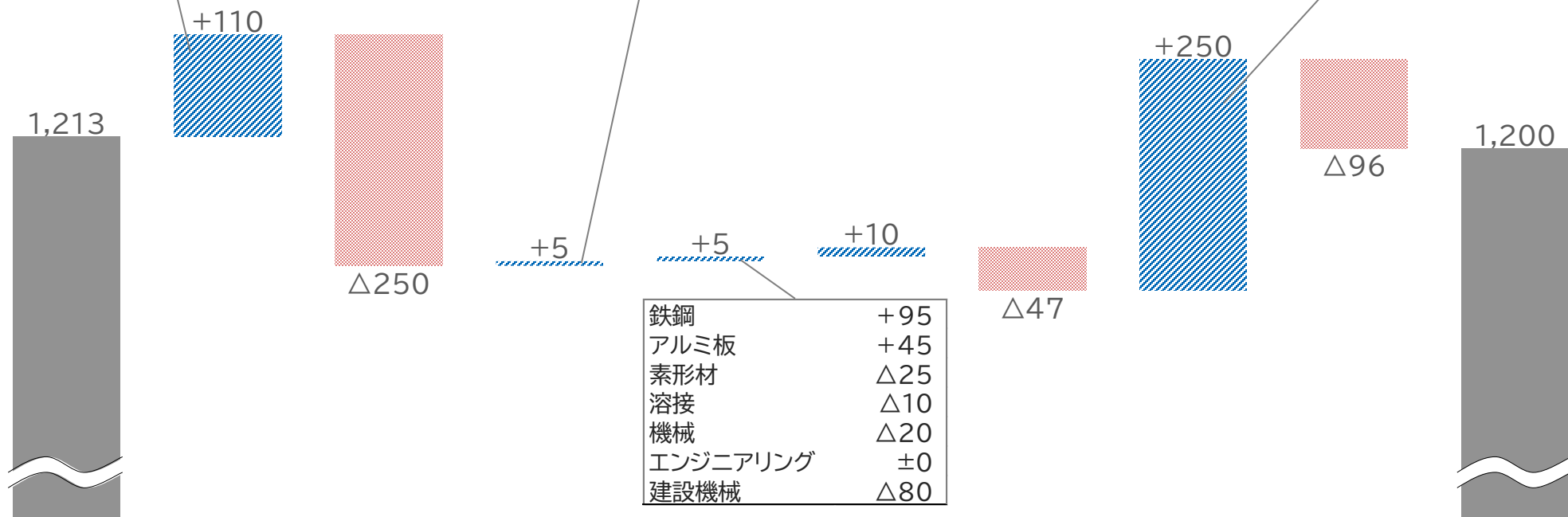
2026年度 業績見通し:経常損益 2025年度比

△13億円

鉄鋼	+30
アルミ板	+15
素形材	+25
溶接	+15
機械	△55
エンジニアリング	△10
建設機械	+90

	販売・ 調達価格	為替 影響
アルミ板	△20	±0
素形材	+10	±0
溶接	△5	±0
建設機械	△25	+45
計	△40	+45

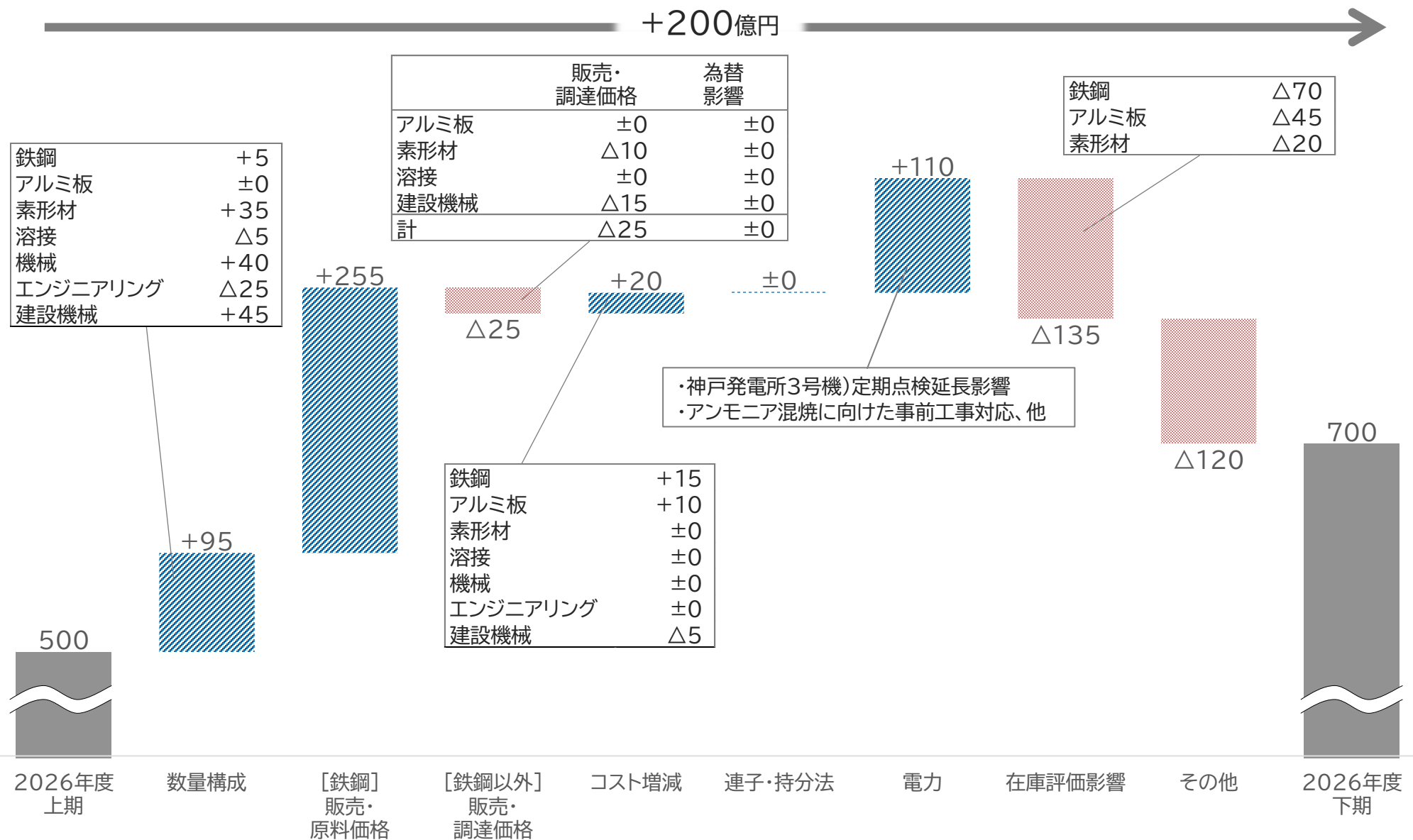
鉄鋼	+215
アルミ板	+20
素形材	+15



鉄鋼	+95
アルミ板	+45
素形材	△25
溶接	△10
機械	△20
エンジニアリング	±0
建設機械	△80

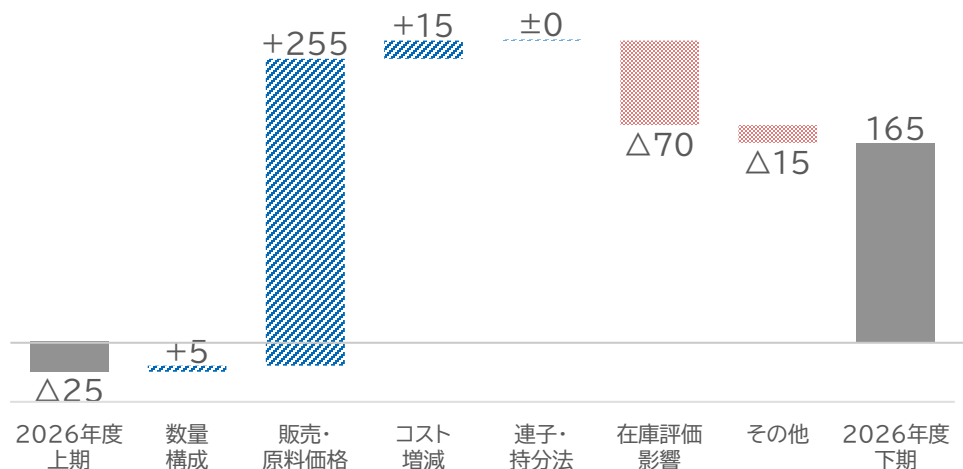
2025年度 数量構成 [鉄鋼] 販売・原料価格 [鉄鋼以外] 販売・調達価格 コスト増減 連子・持分法 電力 在庫評価影響 その他 2026年度

2026年度 業績見通し: 経常損益 上期→下期差異内訳

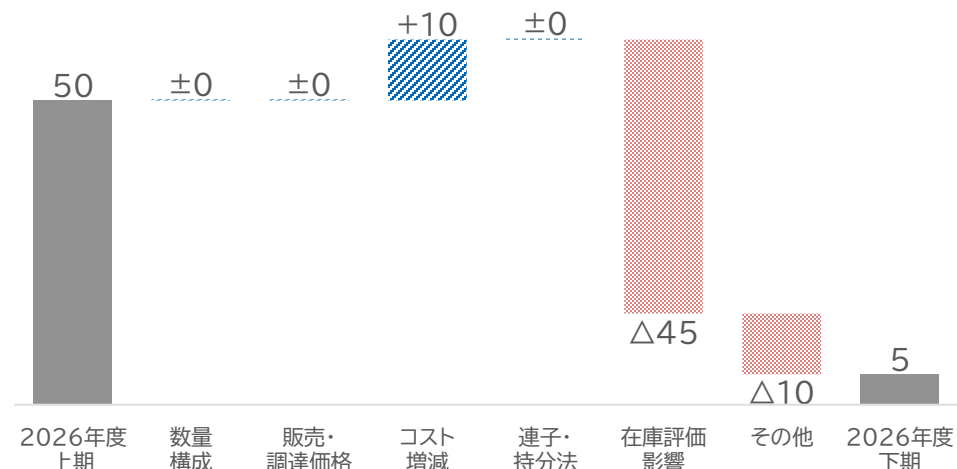


2026年度 業績見通し:経常損益 上期→下期差異内訳 主要セグメント

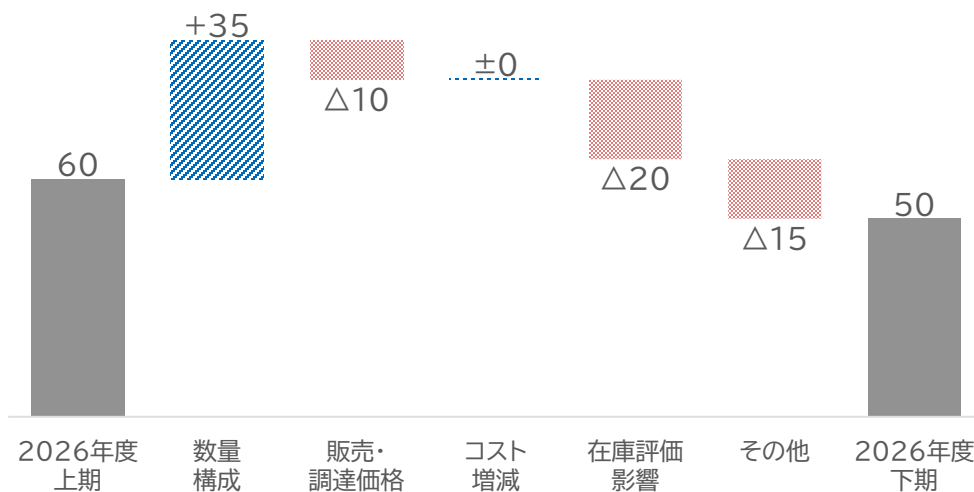
鉄鋼



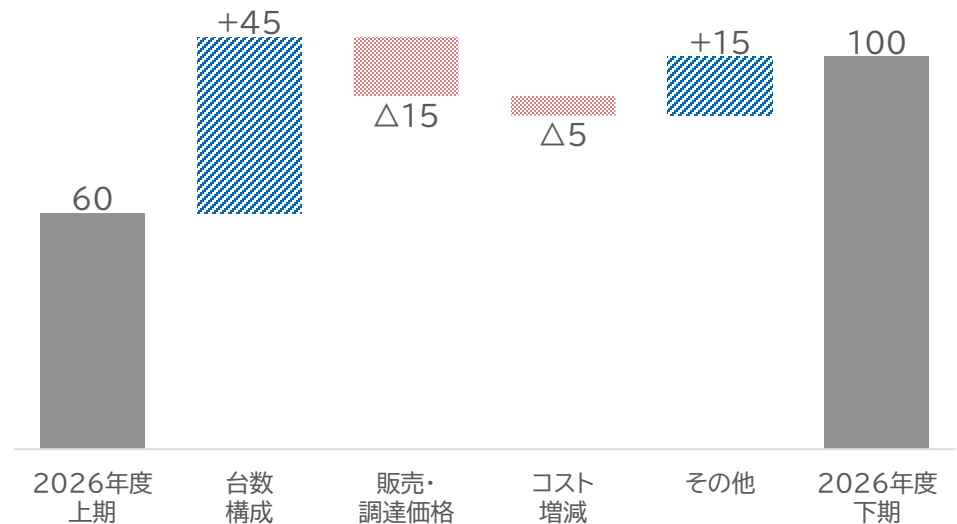
アルミ板



素形材



建設機械

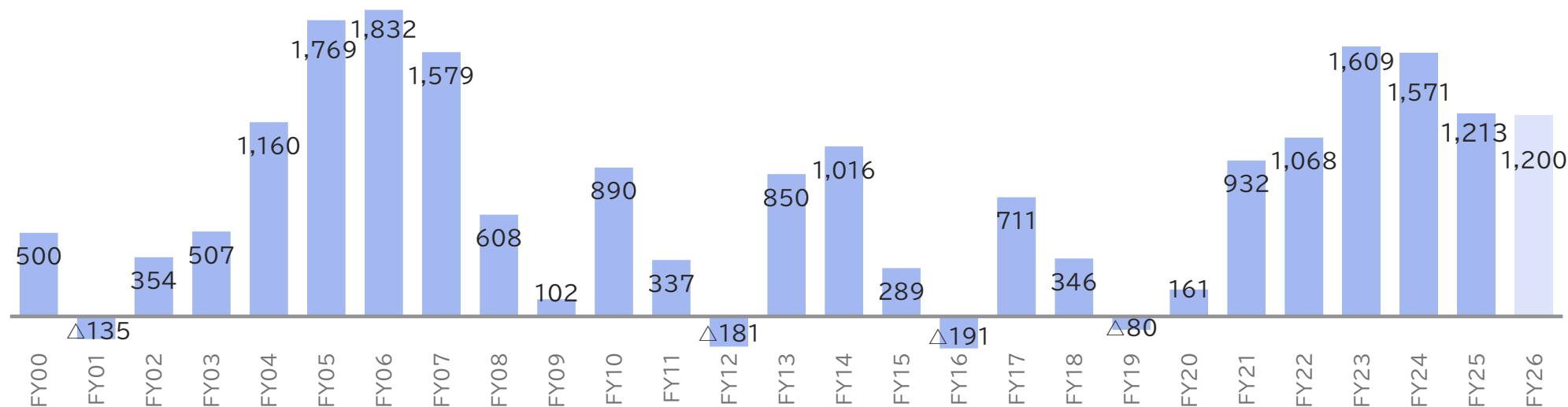


		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 見通し(前回)	2026年度 見通し(今回)
設備投資	計上	1,052億円	1,158億円	1,285億円	1,600億円	1,600億円
	支払	948億円	1,132億円	1,244億円	1,700億円	1,650億円
減価償却費		1,190億円	1,224億円	1,239億円	1,250億円	1,250億円
純資産比率		38.6%	42.8%	46.4%	49%程度	49%程度
有利子負債(リース含)		8,735億円	8,863億円	7,699億円	7,550億円	7,550億円
D/Eレシオ ※1		0.83倍	0.76倍	0.61倍	0.55倍程度	0.55倍程度
営業キャッシュフロー		2,052億円	1,482億円	2,016億円	2,000億円	1,800億円
投資キャッシュフロー		△ 537億円	△ 1,138億円	△ 736億円	△ 1,900億円	△ 1,800億円
フリーキャッシュフロー		1,515億円	343億円	1,280億円	100億円	0億円
現預金残高		2,787億円	2,198億円	1,890億円	1,500億円	1,400億円
1株当たり当期純損益		277.38円	304.64円	237.80円	251.80円	252.09円
ROE ※2		11.1%	10.8%	7.7%	7.5%程度	7.5%程度
ROIC ※3		6.7%	6.9%	5.3%	5.5%程度	5.5%程度

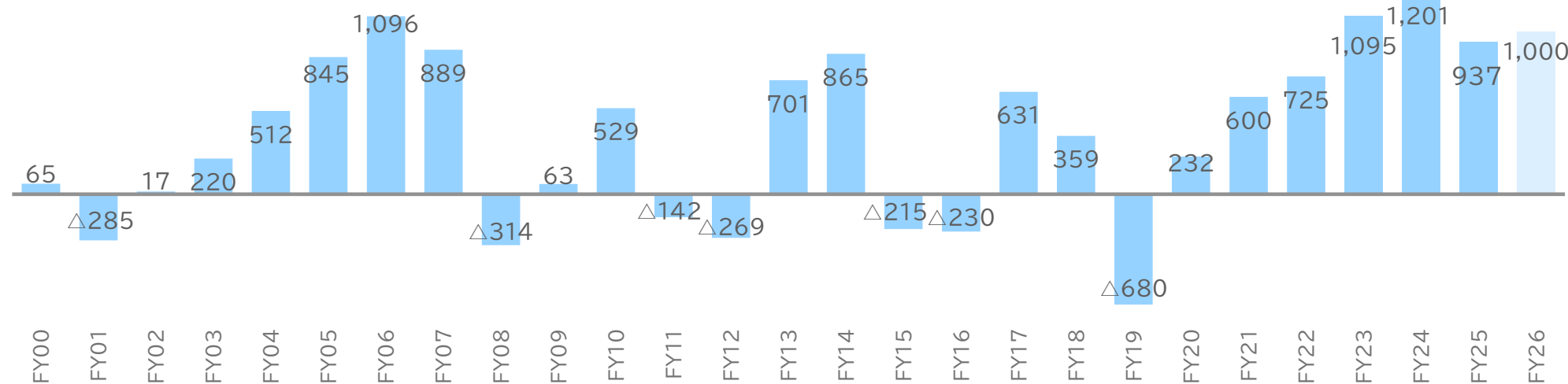
※1:D/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2:親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3:税引後事業利益/投下資本

(単位：億円)

【経常損益】



【親会社株主に帰属する当期純損益】

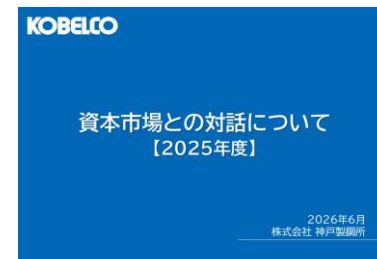


資本市場との対話 / 社会からの評価(主なもの)

資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に行っており、その内容をホームページに開示しています。

2025年度版(2026年6月公表): [capital markets 25.pdf](#)



社会からの評価(主なもの)

◆FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

◆FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

◆FTSE JPX Blossom Japan Index



FTSE JPX Blossom Japan Index

◆CDP



「気候変動」で「A」評価を獲得

◆MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※

2026 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

◆MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX(WIN)※

2026 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

◆日経統合報告書アワード

NIKKEI 日経統合報告書アワード Integrated Report Award 2025

「優秀賞」を初めて獲得



KOBELCO が 実現したい未来	「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来 安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。
KOBELCO の 使命・存在意義	KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命 個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。
KOBELCO の 3つの約束	KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します
KOBELCO の 6つの誓い	「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範 1. 高い倫理観とプロ意識の徹底 2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 3. 働きやすい職場環境の実現 4. 地域社会との共生 5. 環境への貢献 6. ステークホルダーの尊重 品質憲章

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略等、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性等様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - ・ 為替相場の変動
 - ・ 原材料のアベイラビリティや市況
 - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&A等の事業展開
 - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化